学校番号	3037

令和８年度　理数科

教科	理数	科目	(学)理数数学Ⅱ β演習	単位数	4単位	年次	3年次
使用教科書	数学Ⅲ　（数研出版）						
副教材等	4STEP　数学Ⅲ+C　（数研出版） チャート式　基礎からの数学Ⅲ+C　（数研出版） クリアー数学演習Ⅲ・C（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、まず講義で基本的な内容や解法を理解してもらいます。また、問題演習も随時取り入れ、自分で考え、周りの人と協働で考える活動も行います。課題解決のため、結果を予想し、よりよい解決方法を自分で考え、解決していくようにしてください。
・問題集用のノートを用意し、問題集の問題を自分で解いてください。また、各自答えあわせをして、自分がどこまで理解できており、どこでつまずいているのかを把握したうえで、授業に臨んでください。
・家庭学習における課題を定期的に提出してもらいます。計画的な学習習慣を身につけましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
数学Ⅲ【微分法、積分法】の内容について系統的に理解し、基礎的な知識を身に付け、技能を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
事象を数学的に考察し表現する能力を養い、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにするとともに、それらを的確に活用する態度を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
数学に関する事象や課題に向き合うことで、粘り強く課題の解決に挑戦しようとする態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学的活動を通して、式の計算、関数、極限等における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。また、事象を数学的に考察し、表現・処理する仕方や推論の技能を身につけ、的確に問題を解決できる。	数学的活動を通して、式の計算、関数、極限等における数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考察するとともに、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考察し、表現できる。	数学的活動を通して、式の計算、関数、極限等における考え方に関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを進んで活用しようとする。また、自分自身の学習についての振り返りを行い、評価・改善をしようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	数学Ⅲ第3章 微分法 数学Ⅲ第4章 微分法の応用 数学Ⅲ第5章 積分法	数学Ⅲ　第3章第１節 導関数 数学Ⅲ　第3章第2節 いろいろな関数の導関数 数学Ⅲ　第4章第1節 導関数の応用 数学Ⅲ　第4章第2節 速度と近似式 数学Ⅲ　第5章第1節 不定積分 数学Ⅲ　第5章第2節 定積分	a:微積分に関する基本的な概念を理解し、知識を身につけているとともに、微積分を用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。 b:微積分の考え方を用いて、事象の考察や表現をし、その過程を振り返ったりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。 c:微積分の考え方に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 小テスト 提出課題	定期考査 小テスト 提出課題	提出課題 観察
	数学Ⅲ　第６章　積分法の応用	数学Ⅲ　第6章 面積、体積、曲線の長さ、速度と道のり 数Ⅲ内容の総合演習 関数、極限、微分法、積分法		定期考査 小テスト 提出課題	定期考査 小テスト 提出課題	提出課題 観察
二学期	数学Ⅲ・C演習	・関数 ・極限 ・微分法 ・積分法 ・複素数平面 ・式と曲線	a：発展的な概念を理解し、知識を身につけているとともに、事象を表現・処理する技能を身につけている。 b：事象の考察や表現をし、その過程を振り返ったりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。 c:学習内容に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 小テスト 提出課題	定期考査 小テスト 提出課題	提出課題 観察
三学期	数学Ⅲ・C演習	総合演習		小テスト 提出課題	小テスト 提出課題	提出課題 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度